

# 今村 央子 先生（国立音楽大学教授）

## フォルマシオン・ミュージカル講座

### ～演奏に役立つ楽典・ソルフェージュとは～

◎日時：令和5年8月17日(木) 13:30～

◎会場：新潟中央高校 音楽ホール



#### Formation musicale (フランス語) = 音楽形成

楽典やソルフェージュは音楽家としての自立への第一歩。日頃から意識することにより、音楽の理解や表現に、幅と奥行きをもたらしてくれる。知性が感性を豊かにするとともに、より繊細な感覚を育て、表現の根拠として自信を与えてくれる。



#### 生徒の感想

- ・楽譜のどこをどのように見て考えると良い演奏になるのかがわかった。また、曲を聴くときに、何を意識して聴くと良いかがわかった。
- ・楽譜を見るだけでなく、実際に歌ってみたり手拍子を打ってみたりと、自分の身体で感じながら確認することが大切だと思った。
- ・知性を大切にしたい音楽ができるようにしたい。



#### 生徒の感想

- ・言葉と感性を結びつけると演奏技術に役立つと思った。
- ・曲についてよく考え、分析してみたいと思った。
- ・今の環境に感謝して進んでいきたい。
- ・普段練習している曲を歌ったり、和音のしくみを理解することの重要性がわかった。譜読みの段階からアナリーゼをして、曲への思いを大切にすると演奏に役立つことがわかった。
- ・言葉を使うことで、自分の意見を感性に乗せられるようになる。指揮をしたりするのも一つの方法。
- ・手拍子をしてみることや歌ってみることで、「聞こえない音」も聞き取りやすくなる。「自分の力」を使っていくことが大事。